

## 燃費・環境・航続距離に優れ、災害に強い LPGハイブリッド車を製造・販売

2002年より小松社長が個人事業で自動車整備工具販売を開始。2010年に法人化を機に、国交省自動車認証整備工場の認可を取得しバイフルーエル(LPG&ガソリン)車製作・販売、自動車車検・整備・修理・販売を手掛ける。市販のガソリン自動車にLPGタンクを設置し、LPGを主燃料、ガソリンをサブ燃料として走行する「バイフルーエルシステム」を車種別専用開発し、キット化。自社製キットを全国の提携販売店に展開することで同社独自のLPGハイブリッド車の普及を図っている。

● 所在地	山形県酒田市大宮町1丁目4-10	● 設立	2010年
● 電話／FAX	0234-23-5066／0234-23-5082	● 資本金	2,000万円
● URL	<a href="http://k-techcorp.com/">http://k-techcorp.com/</a>	● 従業員数	10人
● 代表者	代表取締役 小松 豊		



### 海外にも積極展開

ミャンマーではCNG車からLPガス車に転換することが予想されることから、2015年、ミャンマーに合弁会社を設立した。LPGハイブリッド車対応のキットを輸出して現地整備工場にて施工する計画を立てている。また、造船大手の常石造船との共同開発で、タイの交通機関であるシーロー(軽トラを改造した乗り合いバス)を電気とLPガスで走行可能な新車両として製作。来年早々、現地で同社のキットの実装と実走行テストを行う予定。環境に配慮したLPGハイブリッドの展開により、新たな海外市場を開拓・獲得する。

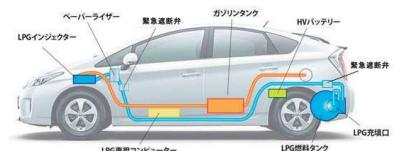


シーロー

### 市販車をローコストでLPGハイブリッド車に

市販車のガソリン車やハイブリッド車にLPG装置を搭載し、LPGハイブリッド車に改造することで、CO<sub>2</sub>は1/10、航続距離は約2倍、燃費4割削減を実現。

同社では、車種別に適合する専用キットを独自に開発。動力の切り替えを最適にプログラミング制御することにより、航続距離、経済性、環境性能を飛躍的に改善するシステムをローコストで提供。



LPGハイブリッド車の構造

### 災害に強いLPGハイブリッド車

同社のLPGハイブリッド車は走行性能に加え、災害時にも強いということが評価されている。2014年9月、酒田市役所にトヨタプリウスのLPGハイブリッド車を納車され、さらに多くの自治体、行政機関にも導入されている。

その後、同社では平成29年10月に自社でLPガススタンドを設置し災害時には酒田市にLPガスを供給する災害協定も結んだ。

自動車整備工場が市との災害協定を締結したことは全国でも珍しく、関係団体・協会などが酒田市を注目をしている。



LPガススタンド